

# 医師マネジメント

「ポイント④」質の高いスタッフ

## 積極的に支援するスタッフが 医師に安心とやる気を与える

ホワイトボックス株式会社代表取締役社長 一石井友二

力のある医療スタッフが  
チーム医療をつくりあげる

医療では医師が診察を行い、診断し、指示を出す。その指示にもとづいて看護や治療が行われる。そのプロセスで検査や放射線の技師らがデータを医師に示し、また看護師がサポートを行う。薬剤に関する高度な情報が必要な薬剤師は、かつこの相談相手になるし、彼らの情報により医師が判断することも数多くある。

さらにMEやPT・OT・ST、そして管理栄養士や事務方も現場では重要な役割を果たす。

このように医療行為を改めて眺めてみると、いかに多くの職種がかかわってい

るかを認識させられる。

医療がチームで行われるといわれる所以である。力のある看護師やコメディカル、事務方が一体となりつくりあげる医療体制は、医師が自ら考えた医療サービスを提供するうえでのバックボーンともなる。

医師を支援するため質の高いスタッフを持つことは、病院において医療を的確かつ円滑に行うための必要条件なのである。

したがって、医師はできるだけ質の高いスタッフを持ちたいと願っている。医師を積極的に支援できるスタッフがいれば、なおさらである。

あるとき、医師が「自分で失念していたこと、見落としていたことに気づかせ

てくれる。そんな看護師がいたら、どれほど仕事やりやすいことか」という話をしていた。スタッフの大切さを実感する医師の切実な思いである。

質の低いスタッフが  
医師にリスクを抱えさせる

逆のことも言える。すなわち、質の低いスタッフがいると、思いどおりの医療ができないのだ。それどころか、報告がないことや、出した指示が徹底されないことにより、医師は大きなリスクを抱えることになる。

「クリティカルパスを理解して、使うスタッフはとてもし少ない。パスが単なる指示書になり、治療全体を俯瞰できていない」と話す先

生がいる。知識が欠落していたり、必要な判断が下せなければ、的確な医療は行えない。そのことを懸念した言葉である。スタッフは現場で求められる知識をもち、あるべき行動をして欲しいと医師は願っているのだ。

ある病院に勤務する医師が、治療を行うことで得られた報酬を元手に現場のスタッフに必要な知識を得てもらうため、看護師にこう持ちかけた。

「旅費や受講料を出してあげるから、研修会に出て皆に報告してくれると嬉しい」

返ってきた答えはこうだった。「報告しなければならぬのだったら行きたくありません」。あまりの意識の低さに驚いたと、医師は嘆いていた。

スタッフの質が低いために「入院させると心配で、夜も病院に来て患者を診ることがある」という医師や、「若い看護師が多く、一定

数以上の患者さん入院させられない」と病床稼働率が低い理由を説明する医師もいる。こうした状況に直面する医師は身の危険を感じ、少しずつやる気を失い、退職の引き金に発展することもある。

医師の声に耳を傾け  
スタッフのレベルアップを

こうした医師の言葉の数々は、スタッフの質が一定レベルに達していることがどれほど医師のやる気を醸成し、力を引き出すポイントになっているかを認識させてくれる。

病院は、現場で求められるスタッフの「質」について、医師からよく話を聞き、スタッフが質を高め、力を発揮するための人事制度づくりや、職務基準を利用した教育体制整備への取り組みを行わなければならない。そうした取り組みも、医師にやる気になってもらうための、重要な活動の一つなのだ。